

煮卵生産ラインの動線改善

企業紹介

株式会社 ちさと東

- 代表者: 熊谷 安倫
- 所在地: 下伊那郡阿智村智里556-1
- 従業員数: 15名
- 事業内容: 農産物食品加工・営業卸販売 他
- 連絡先: 0265-43-3938

当社は地産地消を源流とし安全・安心・本物にこだわった農産加工品を製造販売しています。社名は信州阿智村智里東の地名から「ちさと東」と名付けました。これからも南信州の自然にあふれた山里で収穫された四季折々の農作物を、古くから地元で伝わる製法にこだわり加工提供したいと願っています。



工場外観

支援を受けて

阿智村商工会を始め皆さまの支援を賜り、当社のヒット商品である名物煮卵「いちど食べたらもうたま卵」の生産ラインをリニューアルする事が出来ました。これにより営業活動にも大きな弾みとなりました。当社は阿智村の農産物に特にこだわった事業を行っています。これからも商工会と共に地域貢献を念頭に事業運営を図って参ろうと思えます。



熊谷社長

支援概要

■企業の現状・課題及び支援の経緯

名物煮卵「いちど食べたらもうたま卵」はユニークな商品名、地道な営業活動そして他社が真似のできない長期保存等の品質の高さから空前のヒット商品となった。しかしながら、残念なことに現在の生産体制では需要があってもそれに十分対応するだけの生産能力が無い。そのため、より生産性を高めるために新しい生産ラインの構築が不可欠となり、生産ライン構築に向けた支援並びに必須条件となる生産工程の改善支援についての相談があり、下記のとおり支援を実施した。



名物煮卵「いちど食べたらもうたま卵」

■実施した支援内容

新煮卵生産ラインの改善。生産設備は、H28年度補正予算ものづくり補助金を活用して導入。動線短縮を目的とした設備レイアウトの変更により、生産量を今までの1.5倍まで伸ばす改善を実施した。

生産工程は

- ①煮込み ⇒ ②急速冷却 ⇒ ③包装 ⇒ ④滅菌 ⇒ ⑤冷却 ⇒ ⑥除水 ⇒ ⑦出荷 の7つの工程があり、既存の動線距離の126mを12mにし、114mの短縮を実現しました。



煮卵「いちど食べたらもうたま卵」製造ライン

支援の結果及び今後の展開等

新煮卵生産ラインの改善で生産量を45k個/月から69k個/月に増産する事が出来た。これにより顧客からの注文に十分対応でき、また新規営業開拓も可能となった。これからは「作業標準書」の作成や、「作業者の教育訓練」の実施、工程毎に「ボカミス予防表示カード」の設置を行う。これらを実施する事でトラブルの防止、歩留向上を図り、より生産効率を上げ生産力アップを実現する。

支援を実施して

上席専門経営支援員 西川 登

当社とは5S改善活動を支援させて頂き2年強となる。限られた工場スペースの中で、可能な限り生産効率を上げて顧客対応しようとして従業員の皆さんは日々努力されている。少しでもそんな方達のお力になればと支援してきた。これからも当社発展の為に全力でサポート出来ればと思う。

